

栗原市

ノビアの2.5葉期まで 初中期一発除草剤
アクト® 粒剤
イネミズ・野菜害虫の防除に
ガゼット® 粒剤
日産化学

文字甚匂

栗原市栗駒^{もんじ}文字地区の郷土芸能である文字^{もんじじんく}甚句は、昭和10年（1935）頃から盛んになった民謡です。文字地区には、秋田との要路である^{うごき}羽後岐街道が通っており、藩政時代より物資の交易や、文化交流が盛んに行われていました。昭和初年頃、秋田から芸達者な人物が文字にやって来て、多くの若者が歌や踊りを教わりました。そのひとりで熱心に芸域を広めた菅原^{すがわらしんいち}信一氏が作った文字甚句は、小太鼓や笛、^{かね}鉦の^{はやし}にぎやかな囃子と明るい調子の歌と踊りが演じられます。歌詞は郷土である文字を歌ったものであり、地域の民謡として親しまれています。



文字よとこ 栗駒山と
細倉鉦山サアサーその合の里
へスススイ香イサ
川の源 栗駒山に
残る白雪サアサー駒姿
音に名高き 栗駒山の
下を流れるサアサー迫川
私文字の 山中生れ
山で生まれてサアサー沢育ち
文字山奥 沢中さえも
住めば都のサアサー風が吹く
踊れ今夜の 月出るまでも
明日は働けサアサー
星出るまでも